

東海理化NExT(株)

恵那市・製造業

従業員数 / 男性358名 女性313名 計671名 ※令和7年12月現在

エクセレント
POINT

- ①懇親会補助や社内活動で交流を促進
- ②クラウド導入による業務効率化を達成
- ③丁寧なキャリア支援と再雇用制度の拡充



年1回のバーベキューイベントは、従業員の家族を招待して盛大に開催。会場は会社の敷地内のため、家族に会社のことを知ってもらい良い機会となっている。

自動車用ドアミラーやホイールキャップ等の自動車部品を製造している東海理化NExTでは社員間の交流を積極的に推奨。懇親会が開かれる際には、年2回を上限として1名につき2千円の補助を支給しており、2024年度には312回の利用があった。さらに、従業員の家族も参加できるバーベキューイベントを年1回開催。例年300名以上が集まり、部署や年齢の垣根を超えた親睦の場となっている。

業務面では、自社製品の原価低

交流促進と制度改革で活気ある職場へ

減を目的に、他部署を交えた4つのプロジェクトチームを結成。各部署の意見を反映しながら原料や工程の無駄を精査し、利益向上につなげている。活動後には懇親会を開き、交流を一層深めている。

業務効率化に向けては、22年から勤怠管理をクラウドに移行。紙での提出時と比較して、入力時間を月20時間削減できた。併せて給与明細や年末調整管理も電子化したことで、大幅な業務削減と紙資源の節約を実現した。

従業員のキャリア支援にも注力しており、年に3回、上司との1on1面談を実施。年度初めには「キャリアデザインシート」を用いて将来像の実現に向けて話し合い、希望があれば職場転換などにも応じている。45歳頃からは定年後の意向についても共有。現在も15名の再雇用者が活躍しているが、今後の対象者増加を見据え、25年に再雇用者の賃金制度を改定した。従来の「定年前の役職に応じた賃金」から「定年後の業務内容に応

じた賃金」に変更し、賞与も正社員と同等の支給月数に変更。定年後もこれまで同様に活躍できる環境を整えた。

地域貢献活動としては、中学生の職業体験や高校生のインターンシップを継続的に実施。レジンを用いた樹脂成形や3Dプリンター、品質・製造体験などの内容が評価され、他校からも新たな依頼を受けるなど、製造業の魅力発信につながっている。職場体験に参加した特別支援学校の生徒が、26年4月に入社を予定している。



中学生の職業体験では、生技部と連携し、製造の流れや品質についての体験を実施。この取組が話題となり、他の中学校での実施にもつながった。

地域貢献活動としては、中学生の職業体験や高校生のインターンシップを継続的に実施。レジンを用いた樹脂成形や3Dプリンター、品質・製造体験などの内容が評価され、他校からも新たな依頼を受けるなど、製造業の魅力発信につながっている。職場体験に参加した特別支援学校の生徒が、26年4月に入社を予定している。